

5 市有財産有効活用の取組み

市有財産有効活用の取組みは、「土地・建物の貸付事業」「土地・建物の売却事業」「土地・建物及びその他の財産を活用しての民間事業者広告の掲載事業」を柱とし、財産の活用を各局の工夫とアイデアにより推進して歳入確保に努めていくもので、その歳入は、市民サービス向上のための事務事業等に充てられます。

取組みの柱の一つである「貸付事業」については、活用物件を市が自ら選定し、入札等により民間事業者等に積極的に貸し付けることなど新たな運用を行っていくものです。

また、「広告事業」については、美観への配慮等に留意の上、土地・建物・その他の財産へ広告掲載等を拡充し、「売却事業」については、新規行政目的での利用の可能性がないものなどを売却していきます。

なお、平成20年度においては、**18億3,273万円**を歳入予算額として計上しました。

〈平成20年度予算への反映状況：新たな取組みによる貸付及び広告掲載〉

	施設名称	予定用途	歳入予算額 (千円)
1	消防署ほか116件	自動販売機置場	9,240
2	旧臨港消防署大師出張所跡地	事務所施設	8,381
3	中野島多摩川市営住宅ほか4件	駐車場	4,822
4	港湾振興会館ほか8件	広告入りマット	1,907
5	日進町地内市有地	コンビニエンスストア	1,200
6	市営住宅(壁面)ほか1件	壁面広告	120
7	平成19年度以前からの継続分		36,495
		合計額	62,165

〈平成20年度 市有地処分予定地一覧〉

No	施設名称	台帳面積(m ²)	歳入予算額(千円)
1	総務費土地売払収入	30,636.94	462,739
	幸町1丁目地内道路事業残地	36.06	
	上小田中3丁目地内道路事業残地	18.29	
	旧中原区役所建設センター資材置場	812.84	
	小杉陣屋町1丁目地内事業残地	33.20	
	丸子通1丁目地内道路事業残地	82.00	
	子母口地内事業残地	20.00	
	上麻生地内代替地	118.64	
	旧箱根市民保養所	28,794.90	
	旧中原消防署玉川出張所跡地	297.00	
	菅生1丁目地内代替地	131.85	
その他事業残地	292.16		
2	建設費土地売払収入	15.22	5,174
	東京丸子横浜線残地	15.22	
3	まちづくり費土地売払収入	465.40	170,801
	鹿島田駅西地区市街地再開発事業代替地	465.40	
4	廃道路敷・廃水路敷売払収入	-	316,378
	合計額		955,092

(平成20年度予算における大規模敷地貸付)

	地区名称	貸付予定面積 (㎡)	予定用途	歳入予算額 (千円)
1	浮島1期埋立地暫定利用地	約170,000	駐車場、資材置場等	193,931
2	東扇島総合物流拠点地区	約125,000	高機能物流施設	472,502
3	水江町地内公共用地	55,619.31	先端技術産業等の事業用地	149,040
合計額				815,473

市有財産有効活用のこれまでの取組みについて

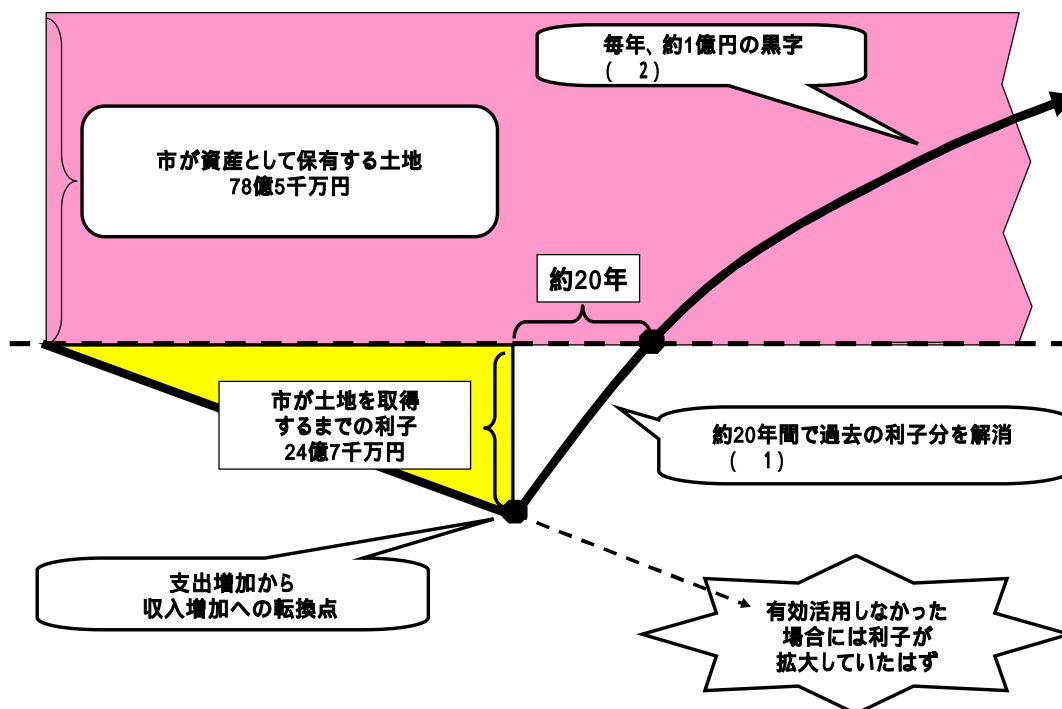
市有地の有効活用については、これまでもいろいろな工夫を重ねてきましたが、その代表例としては、無公害型の研究開発型企業の集積を目指す、麻生区のマイコンシティ事業を挙げることができます。

マイコンシティ事業は、平成7年度から分譲を開始しましたが、長引く景気の低迷の影響などから分譲が進みませんでした。

そこで、平成16年度に、20年間の事業用定期借地を行う方式に切り替えた結果、平成16～18年度で全区画の研究開発型企業の立地が実現しました。

事業手法の転換による収支イメージは下記のとおりです。さらに、立地企業により雇用が創出され、個人市民税が増収となるなど、活力あふれるまちづくりへのグッドサイクルが生まれています。

<マイコンシティ事業収支イメージ>



	(1) 約20年間	(2) 1年間	備考
定期賃借料	23億円	1億円	
市税収入	25億円	1億円	法人市民税・固定資産税(家屋・償却資産) 都市計画税(家屋)・事業所税
基金運用益	23億円	1億円	用地購入財源(土地開発基金)から 得られたはずの運用益
合計	24億7千万円	1億円	